熊谷の元気な企業や団体を紹介します！

（第１回）市長が訪問！　ＭＳＤ株式会社　妻沼工場

MSD(株)は、全世界での医療用医薬品の令和３年売上高が428億ドル(約５兆7,000億円)にも上る世界的な製薬会社で、妻沼工場は同社唯一の国内工場です。見学用の衣服に着替え、経口新型コロナ治療薬の包装工程や、抗がん剤の検査工程を見学しました。デイビッド・ラター工場長を始め、温かく迎え入れてくださった皆様、ありがとうございました。

※詳しくは右記コードからご覧ください。

市ホームページ

◆政策調査課　TEL 内線 369





※記念撮影時には、マスクを外しました。

わがまち熊谷のできごと



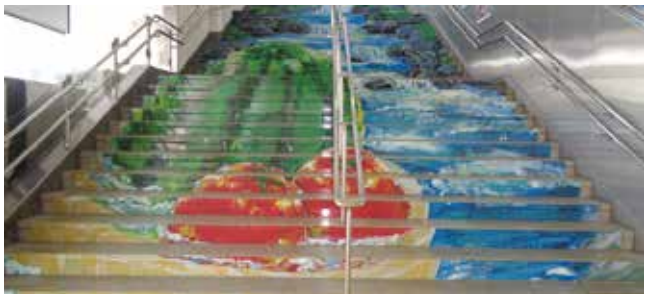
全国の大舞台で「一本」を取りに行きます！

６月20日、「第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」・「第34回全国健康福祉祭剣道交流大会」に県代表として出場する熊谷剣道連盟所属の選手の皆さんが、市長を訪問しました。



胎内くぐり

６月30日、高城神社で胎内くぐりが行われました。参道の一の鳥居には、直径４メートルもある大きな茅(ち)の輪が作られ、多くの人がこれをくぐって半年間のけがれを清めました。



夏の定番「階段アート」が涼しさを演出！

７月１日、熊谷駅・籠原駅の階段に涼感を演出する階段アートがお目見えしました。今年の最優秀作品は専門学生が描いた「納涼」という作品です。階段アートは９月末まで楽しめます。



手前左からアイドル鳥越さん、横田かおりさん

エフエムナックファイブで熊谷市をＰＲ！

７月８日、ＦＭラジオの人気番組「GOGOMONZ(ゴゴモンズ)」の収録のため、横田かおりさんとアイドル鳥越さんが市内を訪れました！ラグビー選手やサッカー選手、市内飲食店の方にもインタビューをし、熊谷の魅力に触れていただきました。

Instagram



撮影場所：三河屋

心も体も癒やされる、おいしいかき氷です。

#kumacitygram

熊谷の魅力再発見

第4回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

先日、市民の方から、「『高速道路を熊谷へ』というのは、関越道のこと？それとも東北道のことなの？」という質問をいただきました。今回はこのことについてお話しさせていただきます。

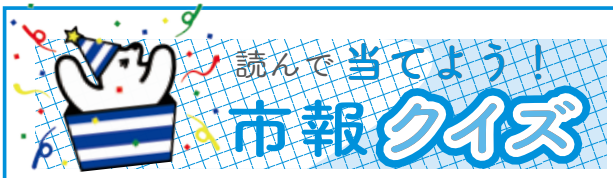
私は選挙公約の一つとして「首都高速道路を熊谷へ」と掲げました。既にご存じの方もいらっしゃると思いますが、現在、首都高速道路は都心からさいたま新都心まで整備されています。そして、工事が進んでいる17号バイパスの「新大宮上尾道路」区間に首都高速道路の事業化が決定しています。そこで、この首都高速道路を熊谷市まで延伸しよう、というのが私の公約です。

また、もう少し詳しくお話ししますと、この延伸とは、17号バイパスの鴻巣市から熊谷を経由して群馬県渋川市までの区間に計画されている高規格道路のことで、「熊谷渋川連絡道路」といいます。この区間は「緊急輸送道路」に位置付けられていましたが、今年の4月に、さらに格上げをされて「重要物流道路」としての指定を国土交通省から受けました。「重要物流道路」とは、平常時と災害時を問わずに安定的な輸送を確保するためのもので、今後、機能強化や重点支援が実施されることになります。

この変化は小さな一歩かもしれませんが、「首都高速道路事業」に向けた確かな一歩を踏み出せたものと思っています。



出典：首都高速道路（株）ウェブサイト



今月の問題

次の○○に当てはまる言葉をお書きください。

熊谷市○○○は地域防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心と安全を守ります。

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を必ず明記し、8月31日(水)までにご応募ください。(1人につき1通)

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

6月号の正解

1週間　　◆応募総数74通中　正解70通

今月のプレゼント

「ジェラートマリノ」の『お好きなジェラートカップ』一つを5人にご提供します！

お店の方からひとこと

笑顔になるジェラートをたくさんご用意しています。

プレゼント
店舗外観　味は季節によって変わります





担当者からひとこと

店内には、いちごやバニラなど定番の味からゴールデンキウイ、トマトやバラなど多彩な味の自家製ジェラートが並びます。週末を中心に販売される作りたての「なまじぇら」は大人気で、早い時間に売り切れることも。県外からのお客さんも多く訪れます。お店のインスタ（@gelatomarino）も要チェックです！



[店舗情報]
ジェラートマリノ
住所：熊谷市広瀬650-1
電話：048-525-2044
営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土曜日 11:00～17:00
定休日：日曜日 ※不定期で土曜日休み

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。
詳しくは、広報広聴課TEL内線212までお問い合わせください。

情熱世代
夢追い人
Dream Followers

撮りたいのは、心の内面
三ツ木（みつぎ） 裕也（ゆうや）さん
（県立妻沼高等学校 美術部写真班）
日本写真家協会（JPS）展２年連続入賞



ゼロからのスタート

実は、高校まで写真には全く触れてこなかったんです。写真を撮るための知識、例えばピントや明るさの調整なんてものも全然知りませんでした。入学後に部活を選ぶ時、この写真部が毎年評価を受けている強豪と知り、「この部活強いぞ！面白そう！」と入部しました。

入部して半年は前顧問（退職）の月岡先生の指導やYouTube（ユーチューブ）を見ながら基礎知識や技術について勉強しました。

心の内面を引き出したい

写真が面白いと思うようになったのは、1年生でJPS展に入賞するなど、自分の作品が評価されるようになってからです。いろいろな展覧会で結果が出ると、やはりうれしいですね。


JPS展 入賞作品「ジェラシー」

今回受賞した「ジェラシー」は、高校生の今の自分にしか撮れない、女子高校生の「嫉妬心」を表現した作品です。普段は見せない、内に隠れている「嫉妬心」を写真に引き出すため、特に構図にこだわりました。

展覧会に提出する作品以外にも、「この写真で何を訴えたいのか」を考えて撮影するようにしていて、そのメッセージを引き出すための被写体の置き方や〝構図〟は深く考えています。

考え抜いた先に訪れる、パズルがピタッと当てはまったような感覚。あの瞬間が好きです。

自分のカメラで自分だけの写真を

今は3年生ですが、自分専用のカメラを持っていないので、お金を貯めて、シャッター音を消せるタイプのカメラを買いたいと思っています。そうすれば、より被写体の〝自然体〟や内面を引き出せるのではないかと思っています。

おすすめの撮影場所は熊谷駅周辺の路地裏です！あまり表に出ることのない場所ですが、そこにいる人の動きなど、多くの発見があって面白い場所です。

今後、高校の卒展やそのほかの展覧会など、機会を見つけて作品を発表していこうと考えています。そこで前顧問の月岡先生に会えたらうれしいです。

●発行日 令和4年8月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111(内線206) FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/

8月のKUMAGAYAびと らぐ人

RUGBY TOWN KUMAGAYA



埼玉パナソニックワイルドナイツ
新井（あらい） 翼（つばさ） 選手
身長／体重：175㎝／88kg
生年月日：1997年7月14日
ニックネーム：ツバサ

●ワイルドナイツに決めた理由
率直に、地元が近くて一番身近で応援していたチームだったっていうのが大きいですね。小さい頃は太田で試合があるとよく行ってました。半分は親父に連れていかれていた感じですけどね。（笑）

●熊谷の出没スポット（お気に入りの飲食店など）
スポーツオーソリティですかね。（笑）キャンプ用品売場に僕の好きなブランドが入っていて、そこのブランドにこだわっているので、よく行きます。

●熊谷に移転しての意気込み（やりたいことなど）
ワイルドナイツをいろいろな人に知ってもらいたいです。特に地元が近いってこともあるので、もっとラグビーを、ワイルドナイツを知ってもらえるような取組を広げていきたいですね。より地域に、熊谷に密着してやっていきたいです。

●ファンの皆さんへ一言
リーグワンで初代チャンピオンになれるように頑張っていくとともに、自分自身も試合に出てチームに貢献できたらと思っているので、応援よろしくお願いします！

※インタビュー日：令和３年12月１日
◆ラグビータウン推進課 TEL 内線341

人口と世帯
●令和4年7月1日現在（対前月比）
■人口 194,496人（-24） 男 97,826人（-19） 女 96,670人（-5） ■世帯 89,820（+69）

「市報くまがや」８月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、１部当たり17円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。